

本を選ぶ

NO.468 2024年(令和6年)5月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>クレソン 再々

●司書の眼 第55回



ろん・ぼわん

クレソン 再々

5月はスズランの季節、気の利いた花屋さんの店先に愛らしいブーケが楚々と並んでいる。フランス語の初学者はle premier mai 5月1日はメーデーだが、スズランの日でもあると習うはずだ。スズランはバラやジャスミンと並ぶ香り成分として名高いが、熱に弱いため香水などの原料として精油抽出には適さず、調香師が人工的に調合して香りを作り上げるという。

この時期フランス西海岸の小さな島ノワールムティエ島産のラ・ボノットという高級ジャガイモが出荷される季節でもある。そしてあっという間に消えてしまう。なにしろこのジャガイモは世界一とも言われる稀少品種で出荷量がごく僅か、かつとびきり高価だから三つ星レストラン以外にほぼ買い手はあるまい。庶民の口に届くはずもない。

パリ6区のムッシュー・ル・フランス街41番地にレストラン・ポリドール (Restaurant Polidor) はある。パリ大学医学部の裏手、地域で言えば中世以来の文教地区カルチェ・ラタンに位置する。レストランと名乗ってはいるが、飲食店ガイドブックに掲載されているような手の込んだ料理を出す星付の高級店ではなく、いわゆる普通のビストロである。メニューのほとんどは一般家庭で普通に

食べられている定番の家庭料理をプロが調理して提供する気軽な雰囲気の大衆食堂の趣。赤いギンガムチェックの質素なナプキンが敷かれた客席はほとんどが長テーブルしかも相席である。勘定を気にせずそこそこの食事が楽しめる。

40年ほど前に一度だけこの店で食事をしたが、今も変わっていない様子だ。ホームページ (<https://www.polidor.com/en/our-story/>) を見ると店の看板も往時のままで、クレムリー・レストラン・ポリドールとある。1845年創業当初はチーズ・バター・卵など乳製品を商っており、片手間に食事を提供していたらしいが、1890年以降は飲食専業となり、以来ヘミングウェイを始め名だたる文人・文化人が常連として歴史を刻んでいる。

丁度同じ頃、ホテル王と呼ばれるセザール・リッツが高級ホテルを立ち上げ、近代フランス料理の創始者エスコフィエがホテル内で高級レストラン事業を開始している。庶民派の地味なレストランと、片や贅沢な食材をふんだんに使い豪華な設えの中で美食を追求する対比的なタイプの飲食業が同時期に並び立ったのは単なる偶然なのか。

ポリドールが今なお長く存続するのは客に支持され続けるそれなりの理由があるからだ。一方で、ガイドブックの高い評価を受ける高級レストランも、毎年しのぎを削り降格や昇格を繰り返す競争を避けられない。とりわけ個人店が代を継いで評価を維持し続けるには相応の努力が強いられるはずだ。

ポリドールの定番料理は、アッシー・パルマンシェ、ジャガイモ料理だ。うまかった。(埜村 太郎)

司書の眼 第55回

——縮毛矯正からBEまで——

鷹野 祐子

4月は年度の切り替えでもあり環境が変わりやすい季節だ。環境の変化は、私たちの生活にいろいろな影響を与える。嬉しい変化もあれば、辛い変化もある。変化によって心は揺れ動き、解きに不安やストレスを感じることもある。けれども、その変化を乗り越えることでより成長し人生が豊かになっていくのではないだろうか。

縮毛矯正を試す

私は生まれた時からくせ毛が強く、というよりも父方からの遺伝で髪がまとまらない悩みを何世代も前から抱えており、毎朝の支度がとても苦痛だった。昔はパーマをかけたりもしていたが、自然派美容師さんに出会ってからは、カットのみで乗り越えてきた。ところが、最近長年通っていたその美容師さんが実家に帰って地域コミュニティの場を作るということで、近いうちに美容院を変えなければいけない状況になった。娘も同じくせ毛の悩みを抱えていたが、ある時バイト代を使って縮毛矯正をしたら今どきのJKよろしく、いつでも髪がサラサラしていてうらやましく思っていた。娘の髪質の変化を見て、私も縮毛矯正を試してみたいなあと日々思っていたのである。

最近、縮毛矯正の技術は大きく進歩しており、ダメージを抑えながら自然な仕上がりを実現できるようになってきた。縮毛矯正では、まず薬剤を使って髪の内部にあるたんぱく質シスチン結合を切断し、髪を柔らかな状態にする。その後、ヘアアイロンで高熱を加えながら、髪の毛を真っすぐに整え、最後に別の薬剤で髪を再び結合させ、真っすぐに伸ばした状態を固定する。昔は板を使ったりしていたが、最近はヘアアイロンも進化したので、スーッととかしている間に真っ直ぐになっていく。強い薬剤と高熱の処理により、髪にダメージがあるのが難点だが、矯正した髪は半永久的に真っ直ぐなのだそう。髪質に合わせた薬剤や施術方法を選択することで、以

前よりもより効果的かつ安全な縮毛矯正が可能になってきている。

平日たまたま空いた休日に、思い立ち新宿歌舞伎町のとある美容院を予約した。午前中の歌舞伎町は、外国からの観光客で溢れかえっていた。時間つぶしに立ち寄ったドトールでは、日本人の方が数名、「一体ここはどこ？」と戸惑っている様子さえ見受けられた。ドン・キホーテの通りにも、伸縮棒の旗を持ったツアーガイドが、観光客を引き連れて活発に動き回っている。

今回選んだ美容院は初めて行くお店だったが、口コミ評価が高く、くせ毛に特化したメニューも充実していた。縮毛矯正の施術は午前から3時ごろまで半日かかったが、担当の美容師さんもくせ毛に悩んでいた方だったので、丁寧にカウンセリングをしてくれただけでなく、施術後も自宅でのケアの仕方など親切に教えてくれた。施術を終えて鏡を見た瞬間、驚きと感動で言葉を失った。まるでInstagramの広告のようである。これまでくせ毛で悩んでいた髪がまるで別人のようにサラサラで、美しい輝きを放っている。縮毛矯正のおかげで、朝のスタイリング時間が大幅に短縮された。以前は毎朝30分以上かけて髪を巻いたり、ストレートアイロンで伸ばしたりしていたが（嘘）、今では簡単にスタイリングでき、くせ毛による広がりやバサつきがなくなり、髪質が改善されたことで自信を持って外出できるようになった。周りの人からも髪を褒めてもらうことが増え、ちょっとおしゃれもしようかという気にもなり、気持ちが明るくなった。

くせ毛で悩んでいる方は、ぜひ縮毛矯正を試してみることをおすすめする。縮毛矯正は決して安い施術ではないが、その効果は絶大で、半年に一度施術するとしたら、毎日の生活がより時短で快適になり、自信も向上する。コスバが良いこと間違いなし。縮毛矯正でQOL爆上がりを体験してみてください。

登校渋り

長女はサラサラ髪のJKを謳歌しているが、次女はこの春地元の中学に進学した。彼女は幼い頃から環境への不安が強く、集団生活になじめない傾向がある。小学校入学式では、校庭の木に登って通りを見ながら親が帰ってくるのを待っていたり、授業中に学校から抜け出し家に帰ったりしたこともあり、学校側は突然消えた生徒を大搜索する騒ぎとなった。とはいえ、明るくものおじしな性格のおかげで友達関係は良好で、友人の助けがあればなんとか学校に登校できていた。しかし、不注意傾向のため授業内容を理解しようという気持ちが保てなかったのも、読み書きができない学習障害ディスレクシアとして周りの配慮をお願いしていた。成長していく過程で、学習の必要性を本人が感じるのを待っていた。環境の大きな変化と中学での学習にも大きな不安を抱えているようで、入学式の翌日から学校へ行きたくないと言い出した。私も夫も子どもよりも早く出勤していたが、「行きたくない」という子を置いて出勤はできない。職場の理解もあってお休みをもらってみると、登校できる日もある。もしかすると学校の用意を一緒に確認し、登校時間に安心して「行ってらっしゃい」と言ってほしいのかもしれないと思った。この子の出産時は、育休も夫が取得しすぐ保育園に入園したため、あまり時間をかけてあげていなかった。働くお母さんたちは多くの場合「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」が言えない。在宅勤務ができたこともあったが、多くの企業で出社を求めるスタイルに回帰している。

さてと、ここらで数年間は育児に時間をかけ、子どもの不安を取り除いてあげてもいいかもしれないと考えた。学校の担任の先生とも即面談を行い現状について相談し、学習障害への理解とサポートをお願いした。幸い、ディスレクシアの対応を前任校でされている経験のある先生だったので、大変理解があり、機器の使用も検討してくれるということだった。休んだ日は低学年の学習から積み上げていく。個別指導や学習塾に通わせ、学習面のサポートを外注することも考えるが、なにせ環境の変化に弱い人種であり、慣れるのにすんな

りいくとは考えられない。時間をやりくりして手を出した方が効率の良いように思われた。今できることは、家族で過ごす時間を増やし、思春期なりの子どもの心の支えとなるのがこの子の場合には必要なのではないかと分析した。

登校渋りは、子どもにとっても親にとっても辛い経験である。学校に行くことはすべてではないが、教育を受ける権利が侵害されているとしたら大きな問題である。その子に合わせて適切な対応策を講じることで、乗り越えることができるのであれば、子どもの気持ちに寄り添い、必要なサポートをしながら、一緒に成長していきたいと思っている。

英語教室の移転

先日、月1回通い続けてきた英語教室にいくと、今日でこの場所が最後で次の場所は未定という。5年前から元高校の英語教員がボランティアで始めてくださったこの教室は、数少ないBasic English (BE) が学べる場であり、英語学習への情熱を育んでくれた場所であった。学生時代、暗記が大嫌いだった私は、英語に苦手意識を持っていた。しかし、Graded Direct Method (GDM) とこの教室で出会ったBEは、私の英語学習に対する考え方を大きく変えてくれた。暗記が苦手だった私も、英文を心から理解しながら自然と暗唱することができるようになった。GDMの解説は、まるでパズルを解くような楽しさがあり、英語学習へのモチベーションを大きく高めてくれる。移転の理由は、場所を貸してくれた方の気持ちの変化ということだった。

教室を貸してくれていた方は、BEの英語教師である母親から英語を学び、大学院を経てコロンビア大学で学んだ。コロンビア大の面接では、BEの重要性や今後の自分の研究について熱く語ったのだが、偶然BEの第一人者が面接官だったので合格させてもらえたのかもしれない、と謙遜されていた。アメリカでの学習はとても大変であったけれど、母親から教わってきたBEで誰とでも話すことができ、また、同窓生もそれぞれ国際的に活躍していて、BEを日本で広めることは海外

どこでも会話できる日本人を育てることであるという確信を得たそうである。日本での英語教授法としてはマイナーなB Eだが、この信念に基づき、その方の教室ではB Eを用いた英語教育を長年行われてきた。

しかし、COVID-19の感染拡大や体調不良で教室外での英語教育の可能性を探求したいと考えるようになったそうだ。長年、周囲との感覚の行き違いを感じて辛く過ごしてきたが、高齢になってから自身が発達障害であることを知ったという。小学校低学年の時は身体も弱く、いじめにもあった。日本では周囲との摩擦を生み、コロンビア大学での生活は比較的過ごしやすかったのだという。これは、アメリカでは発達障害への理解が進んでおり、多様性が尊重され、また同様の傾向がある人も多い研究者環境であったからかもしれない。今回の教室の移転は、その方のB Eへの情熱を貫きながらも、新たな学びの場へと踏み出す決意の表れであった。教室外での英語教育という新たな可能性に挑戦し、より多くの人に英語学習の喜びを伝え、世界と繋がる機会を提供してほしいと思う。

自学の習慣を育む

絵で算数文章問題を解く私の教室に、小学2年生から通っている生徒さんがいる。この生徒さんは、絵を用いた独自の学習法で、算数の能力を順調に開花させてきた。脳の発達がほぼ完成する12歳までこの学習法を継続する予定であったが、付属中学がない私立小学校に通っているため、中学受験という新たな壁に直面することになった。これまでの穏やかな学習とは異なる、速さと効率を求めた学習方法が必要となる。絵で解く算数は、子どもの理解度を深め、論理的思考力を育むのに効果的な学習法である。しかし、中学受験という競争の中では、時間制限のある問題を素早く正確に解くことが求められる。あと1年で受験に必要な知識とスキルを習得しなければならないが、受験を通じて親子とも一回り大きな関係を築いてほしいと思った。

受験に特化した学習に切り替えることは、子ど

もにとっても大きな変化であり、これまで培ってきた学習スタイルを大きく変えることは、大人びた子どもでないと抵抗感や不安を感じるかもしれない。また、親が熱中しすぎて子ども本来の良さを見失ってしまう危険性もある。比較的のびのびとゆっくり育ってきたその生徒さんをみると、できれば公立中学に行って、高校受験の準備をした方が良いのではないかと、私は伝えた。

中学受験は、単に合格すればよいのではない。中学生生活を充実させるための通過点でなければならない。合格後、中学校で自学の習慣を育むスタート地点に立っていることが重要である。そして自学の習慣は、将来の学習や仕事においても役立つ貴重なスキルとなる。言うまでもないが、自学とは、自分が楽しいと思うことが最重要課題である。中学受験という大きな変化に直面している小学生にとって、その先の人生を知っている親の理解とサポートは大きな力となる。その子の個性やペースを尊重しながら必要なサポートを行い、途中で中学受験をやめ本来フリーパスで入学できる公立中学という選択肢を残しながら、中学受験の準備を行いどの学校へ行っても中学生生活を通して自学の習慣を育んでもらいたいと考えている。

Do the hokey pokey

公立中学における教育格差が深刻化している。中学校では高校受験に向けて生徒が自発的に計画的な学習に取り組むことが求められる。しかし、これまで言われた宿題しか経験したことのない多くの生徒にとって、これは大きなハードルとなっている。多くの学校では、「学習をさせること」と「知識を暗記すること」を混同しているように見え、大量のワークを購入し、定期テストまでに提出させるという形式的な学習が主流である。しかし、ワークを解くことが理解を意味するわけではない。問題を解くことで一時的に記憶されたとしても、理解していない知識はすぐに忘れられてしまう。真の学びとは、知識を暗記することではなく、自ら考え、理解し、応用できる力を身につけ

ることである。そのためには、試行錯誤しながら自学できる仕組みづくりが重要だが、生徒たちの成長速度は様々であり、発達の遅い子は学校生活に適應できず、取り残されてしまう可能性がある。現在 10 人に 1 人程度の不登校児がいるといわれる現状からも、成果が出るまでに 3 年間で足りないかもしれないが、教育の問題を解決するためには、学校、家庭、地域が連携した取り組みが必要である。世田谷区桜丘中学校元校長の西郷孝彦氏が実践した「定期テストや校則を撤廃し、不登校やいじめもなくなった」中学校のように、学校は生徒一人ひとりの理解度や学習進度に合わせた指

導を行う必要がある。また、家庭では子どもの学習状況を把握かつ自立を促すサポートを行うことも重要である。安定した家庭への支援とインクルーシブ教育があつてこそ、学習機会の格差を是正し、すべての子が質の高い教育を受けられる環境を整えられるのである。

中学校での学習は、高校受験だけでなく、将来社会で生きていくための基盤となる。生徒一人ひとりが主体的に考え、行動できる力をつけることが、これからの時代を生き抜くために必要不可欠なのではないか。

(たかの ゆうこ：医学系研究所図書室)

DMかたるく

ジョアン・C・トロント／
杉本竜也 訳

モラル・バウンダリー

ケアの倫理と政治学 ケアをあらゆる人間の生や活動として拡張する。 3960円

デイヴィッド・ストラウス／
大林啓吾 訳

生ける憲法

憲法は時代に合わせて発展する。改正は必ずしも必要ない。 3630円



勁草書房

TEL 03-3814-6861 *価格税込
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>



ジュニア 数学オリンピック 2019-2024

6月
中旬刊

数学オリンピック財団[編]

●定価2420円(税込) 978-4-535-79029-2

数学好きの中学生・小学生達が腕を競い合う「日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)」。
問題編・知識編と、過去問題・解答を掲載。



日本経済の故障箇所

脇田 成[著]

6月下旬刊

日本経済の長期停滞状況を、基礎的なデータで確認、脱出策を検討する。

●予価2200円(税込) 978-4-535-54085-9



日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
☎03-3987-8621 <https://www.nipponyoko.jp>

地球研叢書

総合地球環境学研究所の
研究・成果を分かりやすく伝え、
人と地球の未来を考えるシリーズ



現在 27 巻刊行、ぜひお揃えください！

定価：各 2310 円～ 3080 円（分売可）

図書
出版

昭和堂

〒607-8494
京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1
TEL075-502-7500 ※価格10%税込

月報

清岡智比古さん(フランス語学者)
上村武男さん(文芸評論家 神職)

『吾輩は猫である』『夢十夜』
など漱石の12作品を論じた
『夏目漱石を読む』、英国留
学と満韓の旅を論じた『漱
石の巨きな旅』等を収録。
単行本未収録47篇。

7810円



吉本隆明 全集

第34巻

第35回配本
1990-2004

全38巻・別巻1

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

郷土史
年表・資料集阿部 隆/監修
阿部 隆/監修

朝倉書店

ISBN 978-4-254-53580-8

朝倉書店

東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 TEL03-3260-7631『郷土史大辞典』『郷土史大系』
掲載の事項を地方別にまとめた年表
と郷土史研究に必要な資料集。
郷土史・地方史研究や、
小・中学校、高校の郷土学習に！B5版 568頁
定価 22,000円
(本体 20,000円)グローバル・サプライチェーン・
マネジメント入門 横田一彦 編コロナ禍で物流の重要性が改めて明らか
になった。世界経済のメカニズムに組み
込まれた戦略的アプローチであるグロー
バル・サプライチェーン・マネジメント
(GSCM)の最も重要なトピックスを、
簡潔・平易に解説。 A5判 2,860円

新・東アジアの開発経済学

大野健一・櫻井宏二郎・伊藤恵子・大橋英夫 著

さまざまなネットワークのもとにめざま
しい経済発展を遂げてきた東アジア。そ
の直面する課題と新たな競争パターンを
解説する入門テキスト。各国の相違を理
解したうえで、全体のダイナミズムをと
らえる。 有斐閣アルマ 四六判 2,970円

有斐閣

東京都千代田区神田神保町2-17
<https://www.yuhikaku.co.jp/>価格は
税込

源氏物語を知る事典 新装版

西沢正史 編

装丁に
漫画家 山田南平さんの
装画を採用定価 3,300円
(本体 3,000円 + 税)

ISBN 978-4-490-10938-2

不朽の大作『源氏物語』のストーリー展開、人
物関係、時代背景、作者像、文学作品として
の影響や関係資料などまるごと理解出来る事典。
探求学習・レポート作成にも役立つ1冊。

渋沢栄一を知る事典

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 編

2024年
新一万円札の
肖像画に定価 3,080円
(本体 2,800円 + 税)

ISBN 978-4-490-10824-8

多くの企業・団体の設立・経営に関わり日本資
本主義の父といわれる渋沢栄一。社会事業や民
間外交にも尽くした人物像と業績をコンパクトにま
とめた実業家 渋沢栄一を知る最適な入門書。

株式会社 東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
TEL 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

ESTRELA

■2024年5月号

No.362/5月10日発行

B5判 64ページ

定価1,205円(税込)

[特集] 公的統計匿名データの教育研究利用

■ 公的統計匿名データの更なる教育研究利用の可能性/
高部 勲 (立正大学 データサイエンス学部 教授)■ 公的統計匿名データを利用した教育活動の実践例について/
佐藤 正昭 (滋賀大学 データサイエンス学部 教授)■ 余暇と家事・育児によるマルチタスク時間の基礎的分析/
平井 太規 (愛知大学地域政策学部 准教授)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル 5階
TEL : 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>

株式会社 三善

PENGUIN社の多読教材
PENGUIN READERS人気の古典・フィクション・ノンフィクション洋書を
英語学習者向けにレベリングしたリーダー 全8レベルセット販売 ① 60冊 SET A
② 60冊 SET B

税込各 ¥70,400 (本体各 ¥64,000)



Miyoshi

〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
TEL:03-3398-9163 FAX:03-3398-9170哲学
なになに？DK社/編
山本貴光/訳

哲学の基本がわかる図鑑

10歳から大人まで楽しめる
哲学の入門書古代ギリシア哲学から
21世紀の現代思想まで、
イラストでわかりやすく解説。定価 : 2420円(税込)
978-4-487-81663-7

◀詳しい内容はこちらから



東京書籍